

## 甘藷根腐線虫の寄生植物に就いて

後 藤 重 喜

宮崎縣農業試験場

Goto, S. List of host plants of the sweet potato root-rot nematode,  
*Pratylenchus pratensis* (DE MAN) FILIPTEV.

甘藷根腐線虫 (*Pratylenchus pratensis*) の寄生植物については既に Filiptev 氏 (1941) は 34 科 85 属 110 種が挙げられているが、本邦に於いては未だその報告をみない。この寄生範囲を明かにすることは、防除上、又学問上にも極めて重要な問題である。依つて著者は本縣に於いて最も被害激甚なる児湯郡富田村、及び日南市より採集せる 40 科 120 属 153 種の植物について検鏡調査し、次の如き結果を得たので茲に報告する次第である。

調査に当り終始御教示に預つた宮崎農試 J 場長・鮫島技師・宮崎大学農学部平田助教並びに縣改良課高坂技師に対し深謝の意を表する。

## 調査寄生植物数

科 名	Filiptev氏による寄生植物数	著者の調査寄生植物数	新に追加すべき寄生植物数	合計寄生植物数
キク科	17	5	3	20
ウリ科	0	1	1	1
アカネ科	4	0	0	4
ゴマ科	1	1	0	1
ゴマノハグサ科	1	0	0	1
ナス科	4	4	1	5
ムラサキ科	1	0	0	1
ヒルガホ科	0	1	1	1
サクラサウ科	1	0	0	1
カラカサバナ科	1	1	0	1
スミレ科	1	1	1	2
ツバキ科	0	1	1	1
ブドウ科	1	0	0	1
トウダイグサ科	0	1	1	1
マツカゼサウ科	1	0	0	1
マメ科	15	8	4	19
イバラ科	8	0	0	8
ジフジバナ科	7	5	2	9
ケシ科	1	0	0	1
クスノキ科	1	0	0	1

モクレン科	1	0	0	1
キツネノボたん科	6	1	0	6
ヒユ科	1	1	1	2
ナデシコ科	1	2	2	3
アカザ科	3	0	0	3
タデ科	1	1	1	2
クワ科	1	0	0	1
ニレ科	1	0	0	1
ヤナギ科	1	0	0	1
ラン科	1	0	0	1
アヤメ科	2	0	0	2
ヤマイモ科	1	1	1	2
ヒガンバナ科	3	0	0	3
ユリ科	1	3	3	4
アナナス科	1	0	0	1
サトイモ科	1	1	1	2
ホモノ科	14	8	4	18
マツ科	2	0	0	2
合計 38 科	110 種	49 種	29 種	139 種

即ち20科40属49種を旨し、新に著者は次の4科11属29種を追加し、*Lactuca dentata*. (ニガナ)、*Arctium Lappa*. (ゴボウ)、*Chrysanthemum morefolium*. (キク)、*Luffa cylindrica*. (ヘチマ)、*Solanum Melongena*. var. *esculentum*. (ナス)、*Calystegia japonica*. (ヒルガホ)、*Visla mandshurica*. (スミレ)、*Thea sinensis*. (チャ)、*Gossypium indicum*. (ワタ)、*Phyllanthus Urinaria*. (コミカンサウ)、*Phaseolus Coccineus*. (ハナササゲ)、*Pisum sativum*. (シロエンドウ)、*Vicia Faba*. (ソラマメ)、*Arachis typogaea*. (ナンキンマメ)、*Raphanus satiosus*. var. *aeanthiformis*. (ダイコン)、*Brassica Campestris*. subsp. *Napus*. (アブラナ)、*Stellaria media*. (ハコベ)、*S. uliginosa*. var. *undulata*. (ノミノフスマ)、*Amaranthus Blitum*. (イヌユビ)、*Fagophrum esculentum*. (ソバ)、*Dioscorea Antiquorum*. var.

*esculenta*. (サトイモ), *Setaria italica*. (アハ), *Eragrostis japonica*. (コゴメカゼクサ), *Hordeum vulgare*. var. *nudum*. (ハダカムギ) 及び *Oryza sativa. terrotris*. (ワカボ) を 新寄主として挙げる。種類数に於いては Leguminosae. (マメ科) と Gramineae. (ホモノ科) が最も多く Compositae. (キク科), Cruciferae. (ジフジバナ科), Solanaceae. (ナス科) 及び Liliaceae. (ユリ科) が之に次ぎ、他の34科は少なかつた。然し之は種類数の多いマメ科とホモノ科に於いてはその調査数も多かつたので、この種類数の多少は調査数の多少に依るものか、或いは本病に侵され易いかは明かでなく、更に多くの植物について調査した上で判断すべきである。実用的にみれば栽培植物に於いては、普通作物7種、特用作物10種、蔬菜18種及び花卉類2種であつてこれ等が殆んど大部分をしめ、野外雑草は僅か12種にすぎなかつた。この中被害の著しいものはヘチマ、ゴマ、タバコ、トマ

ト、ナス、ニンゲン、トロロアフリ、ミスミサウ、ソバ、ラツキヨ及びサトイモの11種で、その総てが栽培植物である。次いで、ゴボウ、シユンギク、ニガナ、ヒルガホ、チャ、コミカンサウ、ササゲ、ハナササゲ、ダイズ、エンドウ、シロエンドウ、キバナノハウチマメ、ハナヤサイ、ナガイモ、アマナ及びネギの16種で、殆んど大部分栽培植物であつて注目に値する。被害の少なかつたものはタンポポ、キク、ジヤガタライモ、スマレ、ワタ、ソラマメ、ナンキンマメ、ダイコン、カブ、タマナ、アブラナ、ハコベ、ノミノフスマ、イヌユビ、タウモロコシ、サタウキビ、エノコログサ、アハ、エンバク、コゴメカゼクサ、ハダカムギ及びワカボの22種である。

斯様に寄生植物は各科各種の植物に及び、特に37種の栽培植物を冒しその殆んどが被害の著しい事からしても、本病防除上寄生植物の究明が如何に重要であるかは言を俟ない事と思う。